

横山登志子・須藤八千代・大嶋栄子編著
鶴野隆浩・中澤香織・新田雅子・宮崎理著

『ジェンダーから ソーシャルワークを問う』

(図書出版へウレーカ刊行)

出版記念 合評会

困難な状況に置かれた人々を生み出す社会の矛盾に目を向け、当事者主体の支援を展開しながら、人々を抑圧する構造の変革をもめざすソーシャルワーク。だが、その本質を失いかけているといわれて久しい。ソーシャルワークはなぜ視野を狭め、非政治化したのか。私たちは、フェミニズムとジェンダーを通して、ソーシャルワークを批判的に検証し、その変革への糸口を探るために、本書を出版いたしました。この合評会では、本書を紹介し、評者のお二人からコメントをいただきます。そして、参加者のみなさんとディスカッションする場を持ちます。ソーシャルワークを内側から変革していくために、みなさんの参加をお待ちしております。

自著紹介：横山 登志子 (札幌学院大学)

評者：三島 亜紀子 (立命館大学)

藤高 和輝 (京都産業大学)

※当日は、複数の著者が参加予定です。

以下よりお申し込みください。

当日正午までにZoomのURLを
お送りいたします。

申込締め切り：11月7日(土)

[https://forms.gle/
ftnSHfRXkGb8G8jQ9](https://forms.gle/ftnSHfRXkGb8G8jQ9)



お申し込み先

11.08 Sun.

14:00-16:00 (予定)

オンライン (Zoom) ・参加無料

主催：北海道社会福祉学会

問い合わせ：mnakata@hoku-iryu-u.ac.jp
(北海道医療大学看護福祉学部 中田雅美)